科目ナンバリング	U-LAS70 10001 SJ50						
授業科目名 <英訳>	ILASセミナー ：史実と物語 ILAS Seminar :Historical facts and the narrative literature			担当者所属 職名・氏名	文学研究科　准教授　本庄　総子		
群	少人数群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール（対面授業科目）
開講年度・ 開講期	2025・前期	受講定員 (1回生定員)	5 (5) 人	配当学年	１回生	対象学生	全学向
曜時限	金5	教室	文学部陳列館２０５号本庄研究室 (本部構内)			使用言語	日本語
キーワード	日本史 / 古代史 / 史料 / 論文講読						

[授業の概要・目的]

　この授業では、物語をはじめとした同時代の文学作品を史料として利用するために、先人がどのような工夫をしてきたのかを学ぶ。
　歴史学においては、様々な事物を用いて過去の復原を試みる。文献に限っても、当時の人々が書いた文書、帳簿、日記、さらに歴史書、法典など多岐にわたる。歴史学者は、あらゆる手段を用いて過去の情報を貪欲に引き出してきた。
　当時の物語や説話集なども、歴史学においては史料として利用される。もちろん、フィクション部分をそのまま史実として鵜呑みにする訳にはいかない。「史料批判」と呼ばれる技術を用いながら、史実の抽出に努める必要がある。
　この授業は、物語等の史料や、これを利用した歴史学の論文を読み、歴史学の方法を体感することを目的とする。

[到達目標]

・史料批判の基礎を学ぶ。
・史料や論文に依拠して議論する方法を学ぶ。

[授業計画と内容]

基本的には以下の順で進める。

第1回　イントロダクション、論文まとめの担当決定
第2回　ガイダンス　史料批判の方法

第3～第12回　史料輪読5回、論文選読5回
　日本書紀、万葉集、日本霊異記、栄花物語、源氏物語、以上５つの文学作品を輪読して史料の雰囲気をつかむとともに、これらの作品を用いた歴史学の論文を選読する。作品の輪読する部分や選読対象の論文については担当教員があらかじめ指示する。

第13回　レジュメ作成
　レポートの骨子をレジュメにして発表する。
第14回　レポート作成
　レポートを受講者間で読み合わせし、意見を交換する。

第15回　フィードバック

ILASセミナー ：史実と物語(2)へ続く↓↓↓

ILASセミナー　：史実と物語(2)

[履修要件]

日本古代史に強い関心を有すること。

[成績評価の方法・観点]

発表25点、討論への参加25点、期末レポート50点。

[教科書]

使用しない

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

史料輪読
…指定部分読解のための予習

論文選読
…全員：指定論文を読む。
　担当者：論文の概要をレジュメとしてまとめる。分からない専門用語等についても調べる。

[その他（オフィスアワー等）]

[主要授業科目（学部・学科名）]